

近年、台風や大雨による災害が激甚化・頻発化する中、今年1月に能登半島地震で甚大な被害が発生するなど、自然災害の脅威が身近に迫っています。地球温暖化等の影響により水害リスクが高まっているなかで、県では各種防災気象情報の充実を図っています。

防災情報の発信

長崎県では、『長崎県防災情報システム(通称:ナックス)』により、河川水位や雨量情報といった防災情報をリアルタイムで提供しています。また、県が管理するすべての川において洪水による浸水の恐れがある区域を指定・公表しています。事前にお住まいの地区が危険な場所になっていないか確認をしましょう。

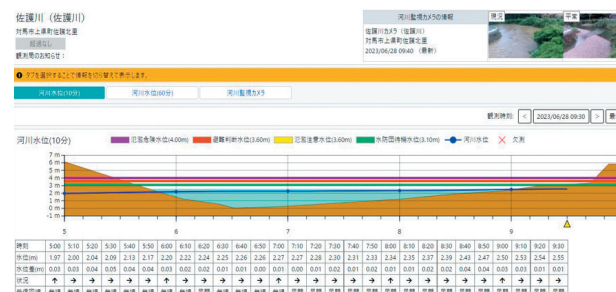


スマホ版 QR コード

河川水位情報

県が管理する河川312カ所に水位計を設置し、観測を行っています。

■水位周知河川の設置水位計(29箇所)



河川水位計設置状況

【水位周知河川とは・・・】

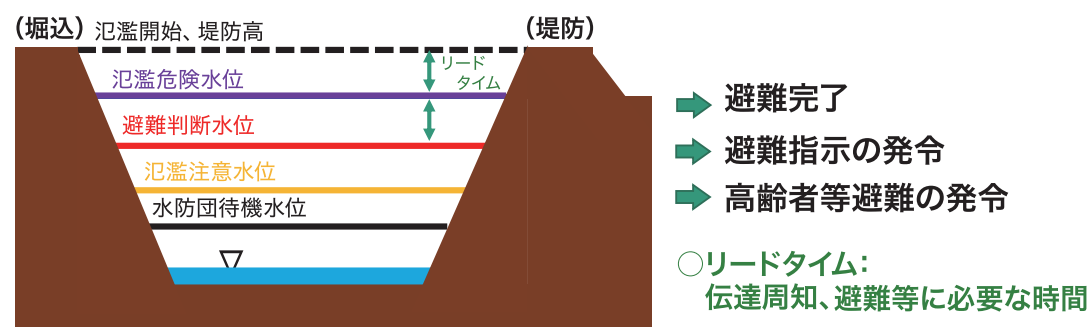
水防法に基づき指定された水位周知河川については、観測水位が一定に達した場合は、県から防災関係機関や報道機関に対して情報伝達を行い、広く周知を図ることとしています。

●**氾濫危険水位**
市町の避難指示等の発令判断の目安とする水位

●**避難判断水位**
市町の高齢者等避難の発令判断の目安とする水位

●**氾濫注意水位**
水防団を出動させる水位

●**水防団待機水位**
水防団が出動のための待機する水位



- ➡ 避難完了
- ➡ 避難指示の発令
- ➡ 高齢者等避難の発令

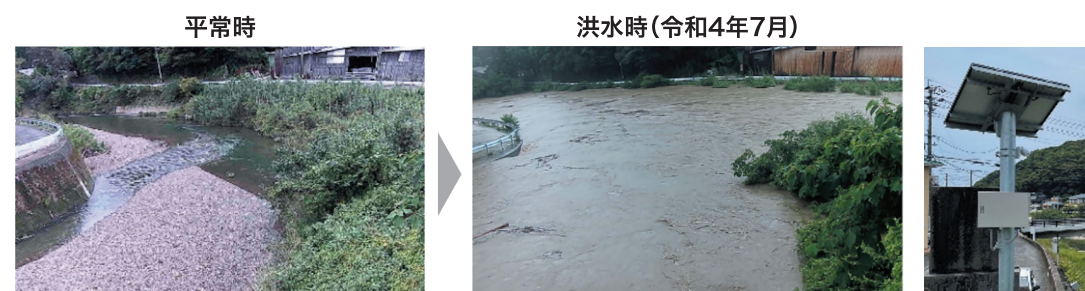
○リードタイム:
伝達周知、避難等に必要な時間

■危機管理型水位計(218箇所)……………洪水時に特化した水位計

■その他河川の水位計(65箇所)……………平常時から観測行っている水位計

河川監視カメラ

現在、県が管理する河川のうち29カ所に設置しており、監視カメラの画像により、常に最新の川の状況が確認できます。

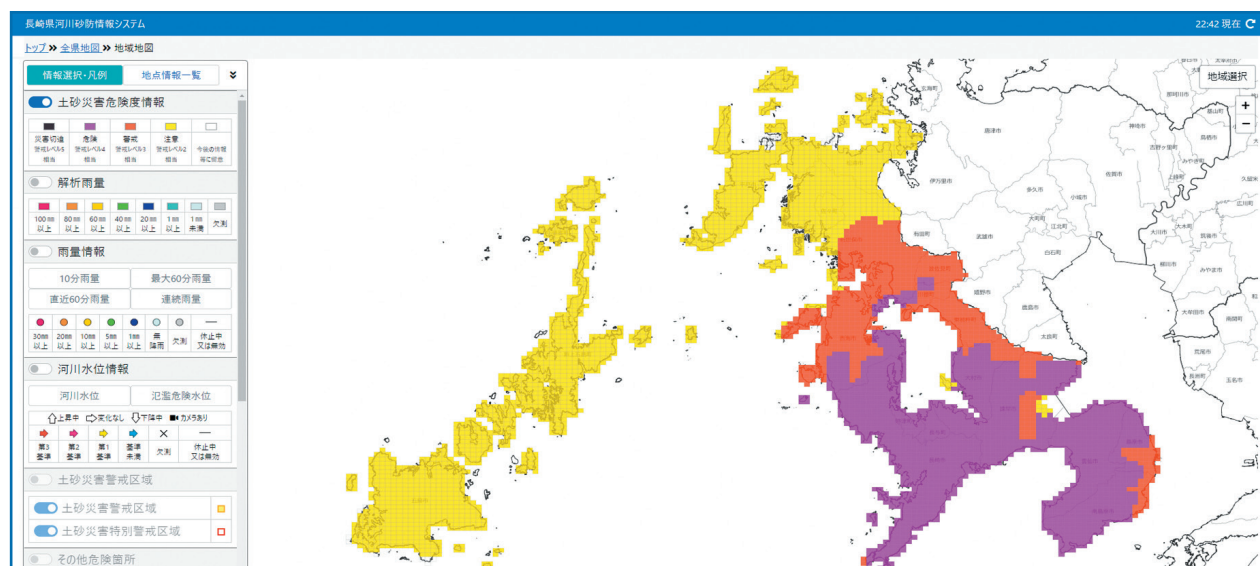


ナックス河川監視画像確認画面【対馬市(佐賀川)】

監視カメラ設置状況

土砂災害危険度情報

ナックスでは、雨による土砂災害の高まりを視覚的に確認できます。



お住まいの地域で、**市町から警戒レベル4 避難指示**や**警戒レベル3 高齢者等避難**が『発令』された場合は、**すみやかな避難行動**を取ってください。

また、**気象庁などから**は、多くの場合、市町の発令より先に**警戒レベル4 相当**や**警戒レベル3 相当**の防災気象情報において『発表』されますので**自ら避難の判断を行ってください。**

警戒レベル	新たな避難情報等
5	災害発生又は切迫 緊急安全確保※1
4	災害のおそれ高い 避難指示※2
3	災害のおそれあり 高齢者等避難※3
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ 早期注意情報(気象庁)

各警戒レベルに対応

※1 警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※3 警戒レベル3は、高齢者以外の人も避難の準備や、自主的に避難するタイミングです。

現在、様々な機関から、いろいろな手法で防災気象情報は提供されています。積極的な情報収集、早めの避難を心がけてください。



砂防課では、土砂災害警戒情報が発表・解除された際に通知する登録制のメールサービスを実施しています。左のQRコードから空メールを送信のうえ、ぜひ登録ください。